

淀川区のみなさま、4年間ありがとうございました

やまちゃんの“こころ”

最終回拡大版

淀川区長 やまもと まさひろ 山本 正広



とうとうこのコラムも最終回を迎えました。今回は担当者がインタビューしてくれるそうなのでQ&A形式でお送りします。



やまちゃんの想い

🎤 **どんな想いを大事にしながら4年間執務してきましたか?**

着任時の「よどマガ!」平成29年4月号で書いたように「心」、「気持ち」を大切にすることです。

よく数字や結果が出ないと意味がないと言われる。もちろんそういう面もありますが、数値だけでは表せないものもいっぱいあると思います。

職員に対しても、区民のため、職場のためにこうしたい! という気持ちがあるなら最大限応援するよという想いで接してきたつもりです。



やまちゃんの涙

🎤 **苦勞したことや、残念ながらやり残してしまったことは?**

一番悔しいのはコロナでほぼ最後の1年を奪われてしまったこと。区民まつりをはじめ、最後の思い出にしようと思っていたイベントがことごとく中止を余儀なくされました。しかし悔しいのは区民の皆さんも同じ。この悔しさをバネに、再開できる時にはこれまで以上に盛り上がっていただきたいと思います。



やまちゃんの成長

🎤 **4年間全うして、自身にあった変化は?**

成長がなくてすみません。偉そうにするのも、されるのも嫌いという性格は学生のころから全然変わってない気がします。

ただ、区長公募に応募し、前職場は早期退職したので、予め定められた任期満了まで後〇日という経験は初めてです。いわゆる「末期の眼」というのでしょうか。最近、何を見ても愛おしく名残惜しく思います。そんな点は心境の変化ですね。地域には積極的に出て行つたつもりですが身体は一つ。どうしても区役所職員への配慮が疎かになっていなかったか、職員一人一人に、もっと心を配るべきではなかったか。総務課、政策企画課や市民協働課などは一緒に仕事をする機会も多いのですが、それ以外の窓口職場は勤務時間中にふらっと寄っても邪魔になるだけ。時間外の懇親会なども最近では皆無で、顔や名前をなかなか覚えられないのを申し訳ないと思います。



やまちゃんのがんばり



🎤 特に力を注ぎこんだこと、誇れる成果は?

長年の懸案だった旧区役所跡地での新図書館整備事業を形にできたこと。着任当初は本当にこじれていました。最初の関係局会議では「中国故事にいう“四面楚歌”とはこれか」と思ったほどでした。でも、担当者の頑張りで粘り強く調整を進め、紙幅の関係で詳しくは書けません、おそらく日本でも最初の手法等も駆使しながら、念願だった新たな図書館を整備し、財政収支でも約100億円の貢献が出来る見込みとなったことは少し自慢してもいいかなと思っています。



やまちゃん的笑顔

🎤 楽しかったり嬉しかった出来事、印象深かった出来事は?

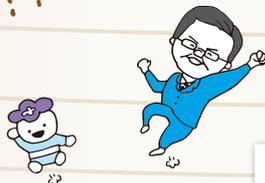
たこあげ大会で二十畳敷の大だこが空に舞い上がった瞬間や、区民まつりのこどもみこしパレードで(1年目は雨で実施できなかったのですが)各地域のみこしが野中南公園に賑やかになだれこんできた瞬間など、地域の皆さんとの思い出は数え上げるときりがありません。



あえて区役所かつ個人的なことという、防災関係で区役所近くのマンションに単身赴任しているのですが、何度か若手職員の有志グループが遊びに来てくれました。テーブルの椅子は2脚しかないので、レジャーシートを敷いて花見の宴会みたいに楽しんだのですが、令和元年6月に集まった時、突然部屋が暗くなりました。サプライズのバースディケーキだったのです。生まれて初めての経験だったので凄く嬉しかったです。



やまちゃん感謝



🎤 区民の皆さまへ最後のメッセージ

西南戦争末期、中津隊の増田隊長は部下に帰郷を命じ、自らは残る理由を問われ、こう答えたそうです。

「三日接すれば、三日の愛生ず。親愛日に加わり、去るべくもあらず」

西郷隆盛という人物に一日接すれば一日の、三日接すれば三日の親愛の情が湧く。ましてこれほど接してしまっただけで去るなど考えられない。そして城山で最期を共にしたとか。

私も淀川区に対し似たような感情を抱いています。4年間、本当にお世話になりました。これまで賜りましたご厚情に対し心よりお礼を申し上げます。どうぞ、後任区長も引き続きよろしくお祈り申し上げます。言葉では言い尽くせませんが、本当にありがとうございました。

